

# 霧島

広報きりしま



Kirishima City Public Relations, Japan  
2013.7.9 発行 VOL.168

霧島 広報きりしま



発行 / 〒899-4394 鹿児島県霧島市福山中央三丁目45-1 世 / 0995-45-5111(代)  
ホームページ / URL <http://www.city.kirishima.jp> ■メール / [pr@city.kirishima.jp](mailto:pr@city.kirishima.jp)  
編集 / 秘書広報課 TEL / 0995-54-0955 FAX / 0995-64-0934 ■印刷 / 南国新聞(生社印刷)



特集 Special Feature 平成5年の豪雨災害から20年目の教訓

## あの夏を忘れない



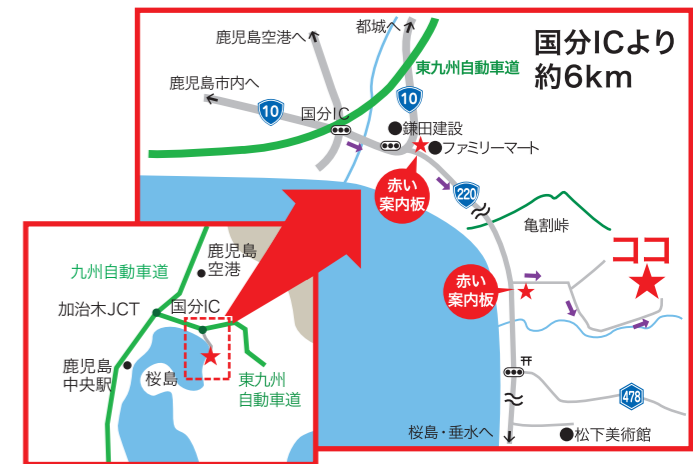
この空気も、  
ごちそうです。

くろずのふるさととは、  
温暖な気候に恵まれた大地。  
5万2千本の壺が並ぶ「つぼ畑」の向こうに、  
錦江湾・桜島を望む贅沢な景色が広がります。  
くろずの文化にふれ、  
くろずの魅力が引き出された料理や  
スイーツを楽しみながら、  
穏やかな時間をお過ごしいただけます。



くろず情報館「壺畑」  
☎ 0120-707-380  
9:00~17:00 年中無休  
くろずレストラン「壺畑」  
☎ 0995-54-7700  
10:00~17:00 年中無休

[www.tsubobatake.jp](http://www.tsubobatake.jp) 鹿児島県霧島市福山町福山3075  
●鹿児島市内から車で約50分 ●鹿児島空港から車で約30分



①土砂崩れにより被害を受けるJR肥薩線の線路(中福良駅近く) ②濁流により崩壊した日当山橋 ③各地で断水し、給水車が出勤 ④川が氾濫し、旧横川町役場1階と駐車場は水没 ⑤災害後は、浸水した家屋の片付けが各地で続いた ⑥床上浸水し、使えなくなった量が大量に並ぶ ⑦各地で道路が崩壊し、生活に大きな影響が出た ⑧橋には木などが大量に引っ掛かり、水をせき止め氾濫の原因にもなった ⑨隼人町松永地区では土砂崩れが民家を直撃。自衛隊なども出動し救出作業が行われた



平成5年、鹿児島県は相次ぐ災害に見舞われました。6月から7月にかけて雨が続き、7月は雨の降らなかつた日がたったの4日だけという記録的な長雨でした。そして8月1日、各地を集中豪雨が襲い、溝辺では1時間の最大降雨量が104ミリ、7月31日からの2日間で591ミリという記録的な豪雨を記録。土砂崩れが各地で発生し、国分で7人、隼人で6人、霧島で4人の尊い命が奪われ、県内全域で合わせて23人の方が亡くなりました。市内各地では豪雨により河川が氾濫。床上・床下浸水の被害が相次ぎました。多くの

平成5年の豪雨災害から20年目の教訓

# あの夏を忘れない

平成5年夏、鹿児島県を襲った集中豪雨や台風は、死者・行方不明者121人、被害総額3,000億円を超える、過去に例を見ない大きな被害をもたらしました。霧島市内でも17人の尊い命が奪われ、河川の氾濫や土砂崩れなど、かつてない被害を受けました。あれから20年—。今回の特集では、あの災害を振り返り、今を生きる私たちに何ができるのか考えてみます。

**県内全域で被害**

8月1日の豪雨災害の傷も癒えない8月6日には、追い打ちをかけるように鹿児島市とその周辺を豪雨が襲い、48人の方が亡くなりました。この豪雨により、鹿児島市の竜ヶ水・花倉地区で大規模な土砂崩れが発生。列車と多くの車が脱出不能となり、周辺住民なども合わせて約200人が孤立状態に陥りました。陸からの救助が無理だったため、漁船やフェリーなど

道路が寸断、橋なども崩壊し、孤立する集落も発生。停電や断水も起こるなど、生活機能は完全にまひしました。8月9日から10日にかけては大型で強い台風7号が接近。垂水市で5人が亡くなりました。9月3日には、当時、戦後最大級といわれた台風13号が上陸。最大瞬間風速59・1メートルを観測するなど猛威を振るい、土砂災害や鉄砲水などにより33人の方が亡くなるなど、県全域に被害をもたらしました。こうして平成5年の夏は、ほかの災害も含めて死者120人、行方不明者1人、被害総額3000億円以上という大きな爪痕と悲しみを残して去っていきました。

# 記憶

あのとき何があったのか。

平成5年豪雨災害を経験した方に、当時の記憶を聞きました。  
そこには、体験した者にしか分からない、自然災害の恐ろしさがありました。



当時の濁流の水位を指さす安楽さん

あんらく いさお  
**安楽 功**さん (72)  
牧園町宿窪田



ふくどめ  
**福留フミ子**さん (69)  
国分川内



なかその たかすみ  
**中園孝澄**さん (59)  
霧島方面隊団員



しおみつ いづお  
**塩満五雄**さん (71)  
元隼人町防災担当

うなっていたことか。あの時の恐怖は忘れられません」と当時を振り返ります。

国分川内の福留フミ子さん(69)も、川の氾濫に巻き込まれた一人。その日は、夫の同窓会で、会場に送った帰りに被害に遭いました。

途中、川が氾濫していて車は立ち往生。夫に状況を伝えようと電話を借りるために、濁流となっている道を歩いて



牧園町安楽地区では川が氾濫し、道路にまで水があふれた



消防、自衛隊などが出動して救出活動が行われた

近くの知人宅に向かいました。電話は不通。家が心配で水の中を歩いて帰ろうとしましたが、勢いが増し身動きがとれずにいたところを、近くにいた男性に助けられ、安全な場所を遠回りしながらどうにか家まで帰ることができました。

「水の勢いはものすごく、踏ん張るのが精いっぱいでした。このまま流されるかもしれないと命の危険を感じました。あの時の災害では、知り合いが土砂崩れで亡くなりました。災害の怖さは、20年経った今でも忘れられません」

## 必死の救出

あの災害では、多くの消防団員が救出に参加。霧島方面隊の消防団員、中園孝澄さん(59)も災害の最前線で救出にあたりました。

近くで土砂崩れが発生し、民家を直撃。現場に向かう道路は土砂によって寸断。2次災害も心配されましたが、一刻も早く現場を確認するため、中園さんら4人が先発隊として現場へ。土砂に膝までつかりながら必死に救助に向かいました。

「現場は大量の土砂に埋も

れ、状況を把握することができませんでした。とにかく、生きていくために、その思いで必死に現場を目指しましたが、そこには土砂につぶされた建物の残骸が残っていました。4人の方が亡くなり、担架に乗せて運ぶ時、その重みとともに、亡くなられた方の無念さが伝わってきました。自然災害の怖さを痛感しました」

## 大混乱

隼人地区では橋が崩壊し、川が氾濫したため孤立する集落が出ました。携帯電話も今のように普及しておらず、情

平成5年の豪雨災害では、市内各地で川が氾濫し、濁流の中を命からがら避難した人が大勢いました。

牧園町宿窪田の安楽功さん(72)もその一人。川の近くに家がある安楽さんは、あの時、自宅の2階から水かさが増していく川を不安な気持ちで見っていました。しかし、過去に川が氾濫したことはありましたが、心の中では「大丈夫」と思っていました。

その時、川があふれ、目の前の道路が見えるうちに水没。慌てて隣に住む母親の救助に向かい外に出ると、川の水は胸ぐらいまでに増えていました。安楽さんは母親を背負い、水につかりながら高台にある知人宅まで必死に逃げました。

安楽さんは「今まで川があふれることはあったものの、まさかここまでくるとは」という油断がありました。水位はあつという間に上がり、もう少し避難が遅かったらどう

報も錯綜。なかなか全容を把握できず、役場は大混乱に陥りました。

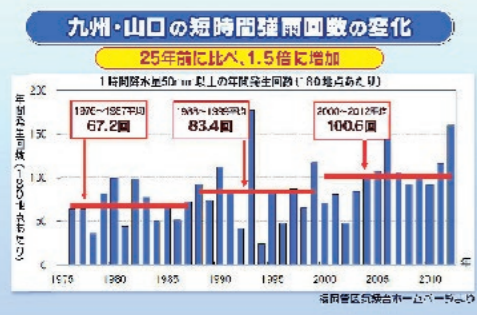
当時、隼人町役場の防災担当だった塩満五雄さん(71)は「現場の様子が分からず、とにかく現状を把握するため必死で情報収集にあたりました。住民からの電話対応にも追われ、家に水が入ってきそうだから、土のうを持ってきてほしい」などの電話も殺到しましたが、職員はほとんど災害現場へ出払っており対応できない状況でした。大災害の前では人の力は微力。

「早めの避難」。その言葉には、経験した者にしか分からない重みがありました。

今回インタビューした4人が口をそろえて言っていたことは、「日ごろの備え」と「早めの避難」。その言葉には、経験した者にしか分からない重みがありました。

あのを  
忘れない

平成5年の豪雨災害から20年目の教訓



(表1)

### 気象庁が命名した風水害関係の気象現象

異なる符号(短時間雨量50mm以上・洪水雨量10.000mm以上)

沖永良部台風 (1977年9月・台風9号)
昭和57年7月豪雨 (1982年7月23日~25日)
昭和58年7月豪雨 (1983年7月20日~23日)
平成5年8月豪雨 (1993年7月31日~8月7日)
平成16年7月新潟・福島豪雨 (2004年7月12日~13日)
◆ 16年7月福井豪雨 (2004年7月17日~18日)
◆ 18年7月豪雨 (2006年7月15日~24日)
◆ 20年8月末豪雨 (2008年8月26日~31日)
◆ 21年7月中国・九州北部豪雨 (2009年7月19日~26日)
◆ 23年7月新潟・福島豪雨 (2011年7月27日~30日)
◆ 24年7月九州北部豪雨 (2012年7月11日~14日)

(表2)

### 観測技術の進歩

	8.6当時	現在
アメダス	1時間ごと	10分ごと
部外雨量データ	ほとんど入手無し	リアルタイムで入手
解析雨量	5km四方で1時間ごと	1km四方で30分ごと
気象衛星	1時間ごと	30分ごと
ドップラーレーダー	—	1km四方で観測5分ごと
ウィンドプロファイラ	—	10分ごと

(表3)

### 予報技術の進歩

	8.6当時	現在
警報の対象地域	薩摩地方 大隅地方	市町村ごと
警報の内容	大雨警報	大雨警報(土砂災害) 大雨警報(浸水害)
記録的短時間大雨情報	85mm/時間	120mm/時間
土砂災害警戒情報	—	市町村ごと

(表4)

あ  
の  
夏  
を  
忘  
れ  
な  
い

平成5年の豪雨災害から  
20年目の教訓

## 避難区分に従ってください

避難の区分	とるべき行動
緊急度 ↓ 高	避難準備情報 避難にお手伝いが必要な方、避難に時間を要する方は、避難行動を開始。そのほかの方は、避難の準備を始めましょう。
	避難勧告 指定された避難所などへ、助け合いながら速やかに避難を完了しましょう。
	避難指示 早期避難を完了させましょう。また、避難の時間的余裕が無い場合には、安全な建物などに一時待避するなどの行動をとりましょう。

市では、3つの避難区分を設けています。防災行政無線や広報車、緊急速報メール、ケーブルテレビ、FMきりしまなどで情報をお知らせしますので、速やかに行動してください。日ごろから避難用品の準備、避難所の確認などをしておいてください。

川の改修などの防災工事が進み、大きな被害は出ていませんが、平成16年以降、記録に残るような風水害が頻繁に起きています。このことから集中豪雨が増えていることが分かります。

### 命を守るために

あれから20年、集中豪雨はまだまだピンポイントの予報は出せませんが、1時間ごとしか出なかったアメダスの情報は10分ごとになり、各地の雨量計も今ではリアルタイムで見ることが出来ます(表

3)。土砂災害警戒情報はありませんでしたが、現在は市町村ごとに出ます(表4)。前田さんは、情報をどれだけ把握できるかが、命を救うカギになると言います。

「最近では、警報や情報をテレビやラジオのニュースだけでなく、インターネットやスマートフォンの専用アプリ、テレビのデータ放送などから知りたい時に見ることが出来ます。以前は、与えられる情報を待つていましたが、今は自分で集められる時代。日ごろから気象情報を確認し、い

ざという時は早めに避難することが大切です」

災害の発生が事前に分かれれば命は救えます。今の技術ではそれは無理でも、いろいろな情報を知ることです。予測をすることはできます。

### 20年前の教訓

当時は「100年に一度の災害」とも言われた平成5年豪雨災害。今では、その規模を超える災害が全国各地で頻繁に起きています。想定外の大災害に備えるためには、「いつか起こる」で

はなく「いつでも起こる」という危機感を常に持ち、自分の命は自分で守るという気持ちと、さらにはお互いに助け合うという気持ちを日ごろからどれだけ持てるかが重要です。

「あの夏を忘れない」「20年前の教訓」を学び、それを伝えていくことが私たちにできる防災の第一歩なのではないでしょうか。

皆さんは、災害への備えはできていますか。この機会にもう一度、家庭や地域で防災について考えてみてはいかがでしょうか。

平成5年の豪雨災害の時、鹿児島地方気象台の予報課長で、気象情報の最前線にいた前田一郎さん。現在は南日本放送のウェザーキャスターを務めています。

前田さんは、当時の状況を次のように振り返ります。

「この年は梅雨時期だけで22回の大雨警報を出しました。5月17日から8月6日までの積算雨量は2000mmを超え、これはただ事ではないと感じ注意を呼びかけました。しかし、当時は観測技術が進歩しておらず、詳細な予報を出す技術もありませんでした。さらには、マスコミに気象のプロがいなかったため、私たちが出す情報の意味を理解してもらえず、報道される内容に温度差を感じていました」

一般に気象予報士の資格が取れるようになったのは平成6年から。当時のマスコミには気象の専門家はいませんでした。

伝えることの大切さを感じた前田さんは、平成8年に気象庁を中途退官し、南日本放送に入社。ウェザーキャス

ターとして気象情報を分かりやすく伝えていきます。

### 気象の変化

近年、全国各地で起きていた豪雨災害。前田さんは危機感を募らせます。

「20年前は、1時間に50mm降れば警戒を強めていましたが、最近では100mmを超すことも頻繁です。過去のデータ(表1)を見ると、九州・山口で1時間の降雨量が50mmを超えた回数が25年前に比べると1.5倍に増えました。いつまた鹿児島で大災害が起



ウェザーキャスター  
まえだ いちろう  
**前田 一郎**さん

鹿児島市出身、昭和45年に気象大学を卒業後、気象庁に入社。気象庁予報部などを経て、平成3年に鹿児島地方気象台予報課長に就任し、平成5年豪雨災害時には気象情報の発表を指導。その後、平成8年に退官し、南日本放送にウェザーキャスターとして入社。県内の天気予報などをテレビやラジオでお知らせしている。

# 情報を把握し、災害に備える

平成5年の経験をどう生かすべきなのか。気象の専門家に聞きました。



### 災害に強いまちづくりのために

降灰被害に対する効果的な災害ボランティアセンターの運営を図るための訓練が6月7日、市消防局霧島北消防署で行われました。これは、平成23年の新燃岳噴火被害を受け、県と市の社会福祉協議会が合同で始めたもので、今回が3回目。

災害ボランティアセンターの設置手順やボランティアの受け入れ・斡旋などの訓練が行われました。市社会福祉協議会会長の松枝洋一郎さんは「新燃岳など活火山と共生する私たちは、何かあったときすぐに対応できる体制づくりが必要。今後も訓練を続けていきます」と力強く話していました。



### 時代を超えた報恩感謝の絆

江戸時代中期に薩摩藩士が濃尾平野の木曾三川（現在の岐阜県）で行った宝暦治水工事の紙芝居と講話が6月7日、霧島中学校でありました。講師の平田勲久さんは、

宝暦治水の責任者、薩摩藩家老平田勲の子孫にあたり、手作りの紙芝居で当時の工事の過酷さや薩摩藩士のつらい境遇を表情豊かに訴えました。その後の講話では、互いを思いやり、恩に報いることの尊さや「薩摩義士」と呼ばれるようになったゆえん、約250年続いている鹿児島と岐阜の人々の交流などについて話し、生徒と保護者は熱心に聞き入っていました。



### 霧島ジオパークガイド体験

陵南中学校の1年生による霧島ジオガイドの体験学習が6月13日、えびの高原池めぐりコースで行われました。この日のためにジオパークの知識やガイドの手法について学習を重ね、準備してきた生徒たちは、コースの所々で動植物の生態や霧島山の成り立ちなどを手作りのフリップで保護者に説明し、ジオガイドや保護者からの質問にも懸命に答えていました。ジオガイドを体験した田嶋玲菜さんは「ガイドとして情報を正しく伝えることが難しかったけど、霧島山の成り立ちなどとても面白くて勉強になりました」と話しました。

霧島市をPRする霧島ふるさと大使の第6回選考会が6月15日、国分公民館会議室で開催され、3人が霧島ふるさと大使に任命されました。出場者はこれまでで最も多い男性2人を含む16人。選考会では候補者が一人ずつ、自己PRと霧島市に対する思いや霧島市のPRを話しました。選ばれた溝辺町の単人加織さん(29)は「霧島の人たちの明るさからいつも元気をもらいます。霧島のいいところをたくさん伝えていきたい」と抱負を語りました。写真左から単人加織さん、国分の野添由里子さん(24)、溝辺町の山元佳奈さん(29)。



### 笑顔で霧島市をPRします

霧島市をPRする霧島ふるさと大使の第6回選考会が6月15日、国分公民館会議室で開催され、3人が霧島ふるさと大使に任命されました。出場者はこれまでで最も多い男性2人を含む16人。選考会では候補者が一人ずつ、自己PRと霧島市に対する思いや霧島市のPRを話しました。選ばれた溝辺町の単人加織さん(29)は「霧島の人たちの明るさからいつも元気をもらいます。霧島のいいところをたくさん伝えていきたい」と抱負を語りました。写真左から単人加織さん、国分の野添由里子さん(24)、溝辺町の山元佳奈さん(29)。

男性2人を含む16人。選考会では候補者が一人ずつ、自己PRと霧島市に対する思いや霧島市のPRを話しました。選ばれた溝辺町の単人加織さん(29)は「霧島の人たちの明るさからいつも元気をもらいます。霧島のいいところをたくさん伝えていきたい」と抱負を語りました。写真左から単人加織さん、国分の野添由里子さん(24)、溝辺町の山元佳奈さん(29)。

**霧島市じんけんフェスタ**  
気づこう 築こう 人権意識  
～人権尊重のまちをめざして～  
8月は人権同和問題啓発強調月間です

**映画 めぐみ**  
—引き裂かれた家族の30年—  
上映会および講演会

とき **8月3日(土)** 13:30～16:15 (13:00開場)  
講演会 14:00～14:30 / 上映会 14:40～16:10  
ところ **霧島市民会館** **入場無料**  
※入場整理券が必要です。

入場整理券は、霧島市役所本庁市民課、単人市民課、各総合支所市民福祉課、市民サービスセンターコア・よかまで配布しています。先着順。なお、当日は入場整理券をお持ちの方から優先して入場となります。ご了承ください。

講演会  
**「家族の絆」**  
講師 市川健一さん  
(拉致被害者 市川修一さんの兄)

☎市民課人権擁護推進グループ ☎(45)5111(内線1741)



今年、平成5年に千葉県習志野市で行方不明になり、拉致された可能性が指摘されている田中正道さんの失踪から20年の節目となる年です。正道さんの妹で唯一の肉親となる、霧島市に住む村岡育世さん(62)は、正道さんの帰りを祈り続けてきました。

**解決に向けた支援を**

正道さんが失踪してから



拉致問題の解決を訴える村岡さん

# 拉致問題解決に向けて

故郷の地を踏むその日まで



ちょうど20年目となる6月7日、第5回特定失踪者に関する庁内連絡会議が霧島市役所で行われました。会議では、解決に向けた支援として、7月13日の霧島国分夏まつりで署名活動を行うほか、8月3日に政府や県と共同で開催予定の市じんけんフェスタのテーマを「拉致問題」に決定し、多くの人々の関心を集めるために周知徹底することを確認しました。

会議に出席した村岡さんは、「行方不明になる前には友人宅に寄り、仕事に行くことを告げていたことから、消息を絶つ理由は考えられません。北朝鮮による拉致の疑いが高いとされているので、ほかの拉致被害者の皆さんと一緒に、1日でも早く故郷の地を踏めることを願っています」と事件の早期解決を訴えました。

## CIVIC NEWS

昭和55(1980)年に「霧島国際音楽祭・講習会」として始まった霧島国際音楽祭は、その名の通り、演奏会と受講生への音楽指導が一緒になった音楽の祭典です。今では日本で最も歴史のある音楽祭となり、かつてこの音楽祭で学んだ受講生が音楽家に成長し、教授やアーティストとして音楽祭に戻って来るのが特徴です。

今年もかつての受講生たちが名手として出演します。市内で開催される右の2公演以外にも、音楽ファンにはたまらない奏者の共演や無料で気軽に楽しめるものなど盛りだくさん。ぜひこの機会に、一流の演奏家たちによる生の音楽を霧島の大自然の中で体験してみませんか。

## 雄大な自然と音楽のハーモニーを体感

日本で最も熱いフェスティバル



公演名	霧島国際音楽祭in国分	ファイナル・コンサート
日時	7月26日(金) 19:00～	8月4日(日) 14:00～
場所	霧島市民会館	みやまコンサール
料金	[全席自由] 一般1,000円 高校生以下500円	[全席指定] 一般4,000円 高校生以下2,000円
演出者	指揮:海老原光(ひかる)、 ヴァイオリン:川久保陽紀(たまき) MBCユースオーケストラ	指揮:高関健(たかせきけん)、 フルート:エミリー・バイノン、 ハープ:安楽真理子
内容	ワーグナー: マイスタージンガー前奏曲ほか	メンデルスゾーン: 序曲「真夏の夜の夢」ほか
問い合わせ先	霧島市民会館 ☎(64)0926	みやまコンサール ☎(78)8000

※このほかの公演についてはみやまコンサールまで問い合わせください。http://www2.synapse.ne.jp/miyama/



**海老原 光**  
霧島市出身。東京シティ・フィルのアソシエイトコンダクター。



**川久保 陽紀**  
チャイコフスキー国際コンクール最高位獲得。ほか受賞多数。

# 図書館へ行こう

http://www.lib-kirishima.jp/

## 【イベント案内】

本からはじまる  
学習活動推進運動

## おはなし王国 in 横川

- 日時=7月27日(土)午前10時~11時
- 場所=横川公民館2階大会議室
- 内容=おはなしの会「さんぽ道」や、図書館職員による手遊び、ブラックシアター、絵本の読み聞かせなど。

問=横川図書室 ☎(72)1596

## 国分図書館夏休み特別行事

### ■植物採集教室

- 日時=7月28日(日)午前9時~正午
- 場所=塚脇小学校(国分上之段)
- 定員=30組(小学生以下とその保護者)
- 保険料=1人当たり50円程度

### ■昆虫採集教室

- 日時=7月31日(水)午前10時~正午
- 場所=国分公民館大研修室
- 定員=30人(小学生以下)

### ■からくり絵本づくり

- 日時=8月4日(日)午後1時~4時
- 場所=国分公民館工作室
- 定員=12組(小学生以下とその保護者)

※初めて受講するご家庭に限ります。

3つの教室の申し込みは次のとおり

- 申込方法=はがきに参加者氏名、住所、電話番号、参加希望の教室名を記入し郵送。(申込多数の場合は抽選)
- 申込期限=7月18日(木)必着
- 申込先=国分図書館 ☎899-4394国分中央三丁目45-1

### ■植物・岩石名付け会

- 日時=8月24日(土)午後1時~4時
- 場所=植物:国分公民館大会議室、岩石:国分公民館大研修室
- 問・申=国分図書館 ☎(64)0918

## 新刊紹介

あずかりやさん  
大山淳子 作

心優しい店主が営む不思議なお店「あずかりやさん」を舞台に、お客さまが持ち込む「あずけもの」に隠された、それぞれの思いと秘密が交差する。

渡されたバトン  
ジェームス三木 作

1969年春、新潟県巻町に、場違いな高級車が滑りこんできた。そこから始まった「原発誘致」をめぐる電力会社、地元業者、住民の人間模様を実話をもとに描く。

かんたんタオル体操  
湯浅景元 作

筋力や柔軟性を高めるだけでなく、腰・ひざ・肩などの痛みや心身の不調などにも効果のある「タオル体操」を分かりやすく説明する。

ぼくはきょうりゅう  
ハコデゴザルス  
土屋富士夫 作

たつくんがダンボールの箱をかぶって恐竜ごっこをしていると、いつの間にか恐竜のすむ世界へ。「ハコデゴザルス」と名乗ったたつくんは、恐竜の子ともたちと仲良くなりますが…。



イベント名	日時[対象]	場所/問い合わせ先
幼児と小学生のためのおはなしの部屋(りんごの木)	8月3日(土) 10:30~11:30	国分図書館 ☎(64)0918
赤ちゃんとわらべうた・えほんのへや(りんごの木)	8月5日(月) 10:30~11:00	
ほととの森おはなし会	7月27日(土)、8月10日(土)、24日(土) 14:00~14:30	隼人図書館 ☎(43)7574
おはなしの部屋	7月21日(日) 11:00~11:30 [幼児・小学生] 8月1日(木) 16:00~16:30 [幼児]	
語りの部屋(語りの会あもり)	7月14日(日) 11:00~11:40	
おはなし広場	7月27日(土) 10:00~11:30	福山図書室 ☎(56)2026

## 隼人図書館

開館時間変更のお知らせ  
夏休み期間中(7月20日~8月31日)は開館時間を変更します。(定例休館日の月曜日も開館)

- 平日=午前9時~午後7時(通常は午前10時~午後7時)
- 土、日、祝日=午前9時~午後5時(通常どおり)

問=隼人図書館 ☎(43)7574

# 元気きりしまっ子

## ミュージカル

### きりしま創造舞台



笑顔と元気いっぱいの「役者」たち。



大好きです、ミュージカル  
笑顔と元気でお届けします



ミュージカルだよ、全員集合!  
右手を大きく突き上げて叫びました。「きりしま創造舞台」の練習開始の掛け声です。

きりしま創造舞台は平成17年の旧隼人町合併50周年記念事業のミュージカル公演をきっかけに設立され、小学3年生から60代までの約50人の演劇好きが集まる市民劇団です。

### 子どもたちの真剣勝負

市民によるミュージカル、しかも役者の半数は子どもたちですが、演技に対する情熱と意気込みはプロ顔負け。脚本と演技指導を務める(有)劇団ドリムカンパニーの徳満亮一さんの妥協のない細やかな指導に、目を輝かせて応える舞台の子どもたち。その表情は真剣そのもの。必死で台詞の記憶をたどり、声を張り上げ、元気いっぱい自分の役柄を演じようとす姿に圧倒されます。しかし、

## VOICE



◎日当山中学校1年生  
役者 亀崎華奈さん

小学校の学習発表会で初めて演劇をし、その楽しさに触れたことがきっかけで、きりしま創造舞台への参加を希望しました。いろいろな人になれることが舞台の魅力だと思います。今回で3回目の舞台になりますが、大変な台詞覚えやダンスなども、少しずつ上手になってきて、自分に自信がつかってきました。本番が成功するように、みんなと一緒に頑張ります。将来もずっと演技を続けていきたいです。

- チケット=市役所1階売店、文化振興課、市民会館ほか。
- 料金=大人1,000円、高校生以下500円(当日200円増)

休止時間になると、普段のあどけない表情に戻ってお兄ちゃん、お姉ちゃんや年上の役者たちと楽しそうに遊びます。  
設立当初から活動している地蔵原勇さん(58)は「今回のテーマは誇れる郷土と命の継承。大隅国建國から1300年の今、子どもたちには当時の隼人族の立場から見た歴史を学び、勇敢な祖先がこれまで引き継いできた命のバトンについて考えてほしい。舞台を通して、一生懸命に取り組むこと、元気と笑顔の大切さを、観客の皆さまと一緒に感じてくれたら」と話します。  
舞台の本番は8月17日と18日、市民会館にて。史実をユニークに脚色した痛快な物語を演じる子どもたちの真剣勝負を見に来ませんか。

◎問=きりしま創造舞台ミュージカル公演実行委員会「逆瀬川」 ☎80(5240)6560



# 努力と意思が 華やかな舞台を支える

## 霧島に生きる THE SCENE

①店内でパフォーマンスを披露する森さん ②店内だけでなく近くの公園でも練習 ③3つのカクテルを同時に作る技術はまさにプロの技 ④全国大会の表彰式。尊敬する日本バーテンダー協会の上野秀嗣常務理事と ⑤色とりどりのカクテルが薄暗い店内で輝く ⑥全国3位のメダルとトロフィー ⑦味にもこだわった自慢のカクテル ⑧デイサービスでのパフォーマンスに観客も大喜び

**森 輝夫さん (33)** 高校卒業後、美容師の道に進む。20歳でバーテンダーに転身。25歳でフレアに出会い、技を磨く。現在も練習を続けながら、店長を務めるバー「ORUTEVICH」で技を披露するほか、ブライダルショー、イベント、市内のデイサービスなどで実演する。  
 ※ORUTEVICHのフレアショーは原則21:00～、23:00～。(時間に変更する場合があります)  
 連絡先= ALOHA COMPANY BAR ORUTEVICH ☎ (47) 7771

6月に大阪で開催された「第40回全国バーテンダー技能競技大会」。ボトルやシェーカーを投げたり、回転させたりするパフォーマンスでカクテル作りを競う「フレアテンディング・バーテンダー・コンペティション」部門で3位入賞を果たしたのが、森輝夫さん(33)です。市内のバーで店長を務める彼は、2月の九州大会で優勝し、過去の全国覇者が半数を占める全国大会で、初出場ながら堂々としたパフォーマンスを披露しました。

行きつけの店のバーテンダーに憧れていた20歳のころ、当時美容師だった森さんは知り合いからの誘いにより、バーテンダーに転身。数年間働いたころ、フレアテンディング(以下フレア)に出会います。「自分の将来やバーテンダーという仕事に悩んでいたときでした。社長に連れられて行ったフレアの全国大会は震えるほどの熱気で、会場を盛り上げるバーテンダーのパフォーマンスに観客も大興奮。自分のやりたかったものはこれだと感じました」と振り返ります。

これと決めたらとことん追求する性格の森さんは、フレアの達人に弟子入りし、猛練習を重ねます。腕はどんどん上達し、お店だけでなく、イベントやブライダルショーへの出演も増えてきたころ、小さな地域の農業祭から出演依頼がきます。ステージはミカン箱の上のベニヤ板。来場者は年配の人ばかりで、テントで売られる野菜の方に夢中。普段とあまりにもかけ離れた雰囲気、公演を切り上げて帰ろうかと思ったとき、数少ない観客の一人から「もっと見たい」と声を掛けられました。

「はっとしました。人に楽しんでもらうことが

第一なのに、場所のせいにして自分自身に気がきました。フレアは場所を選ばない。人を喜ばせたい思いとその技術があれば、どこでもできるんです」人を楽しませることを第一に考えるようになった森さんは、さらに練習に打ち込みます。夜はバーで働き、昼は寝る間を惜しんで公園でひたすら練習。練習中にボトルで神経を切ってしまった指は今も曲がったまま、顔にやけどを負い2週間以上入院したことも。それでも森さんは「頑張ることは当たり前」と笑顔で努力を続けました。

そんな森さんの活躍の場は広がっていきます。商店街の通り沿いでストリートフレアをしたり、市内の小学校でお手玉を教えたり。年配の方にも楽しんでもらいたいと、デイサービスでのパフォーマンスも行います。

「夜のバーでかっこいいバーテンダーもいいけど、僕ももっと身近な存在でありたい。小さい子どもから年配の方まで、幅広い年代の人とふれあえたことは、僕の技術と心に幅をもたせてくれました」バーの名前は「ORUTEVICH」。自身の身長をネタにして、チビテルオを逆さまに読んだもの。森さんの親しみやすい人柄が表れています。「今後は後輩の育成にも力を入れながら、さらに技術を磨き、笑顔と感動を届けられる人になりたい」。目が追い付かないほどのスピードでボトルとシェーカーが飛び交う。いろいろなお酒やジュースが絶妙に混ざり合い、グラスに注がれるカクテル。人も同様、さまざまな人とふれあって輝く色を放つのもかもしれません。

ふれあいのフレア。森さんは今日も誰かのために、最高のパフォーマンスを披露します。

錦江湾奥会議とは、錦江湾奥部に位置する鹿児島市、始良市、垂水市、霧島市の4市が、行政区を越えて連携し、地域活性化を図ることを目指します。

錦江湾奥会議



環霧島会議

環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。

目指せ！世界ジオパーク認定



錦江湾奥イベント

始良市 重富海水浴場海開き



- 期間=7月12日(金)~8月31日(土)
- 時間=午前9時~午後6時
- 内容=約600㎡におよぶ白砂青松の干潟をもつ海水浴場。食堂、売店、シャワー、駐車場(約20台)もあります。
- アクセス=JR重富駅から始良からバスで約5分。

☎=始良市観光協会(商工観光課内) ☎(66)3111(内線282-283)

鹿児島市 グリーンファームの夏~里山でワクワク体験~



- 日時=8月3日(土)、4日(日) 午前8時30分~午後6時
- 場所=グリーンファーム(鹿児島市喜入一倉町)
- 内容=農業・調理・自然・環境に関する体験プログラム、ステージショー、農産加工品の特産品販売ブースなどがあります。
- 料金=入園料/無料、体験料/実費相当額

☎=グリーンファーム ☎099(345)3337

垂水市 たるみずふれあいフェスタ2013夏祭り



- 期日=8月10日(土)(荒天順延)
- 時間=午後3時~9時(花火は午後8時から)
- 場所=旧垂水港特設会場
- 内容=南九州最大の2尺玉水中花火をはじめ、錦江湾からダイナミックに6,000発の花火が打ち上がります。

☎=実行委員会(垂水市商工会内) ☎0994(32)0225

環霧島イベント

えびの市 京町温泉夏祭り花火大会



- 期日=7月20日(土)(雨天順延)
- 時間=午後5時~9時(花火は午後8時30分から)
- 場所=京町区川内川河川敷(駐車場あり)
- 内容=5,000発の花火と子どもみこし、保育園などのお遊戯、ステージ、露天や抽選会で盛り上がりします。

☎=えびの市観光協会 ☎0984(35)3838

曾於市 たからべ夏祭り



- 期日=7月27日(土)(花火のみ雨天翌日順延)
- 時間=午後6時から(花火は午後9時から)
- 場所=財部きらめきセンター駐車場
- 内容=3,000発の花火、屋外ステージイベント、格安の夜店、豪華賞品の当たる大抽選会など盛りだくさん。

☎=曾於市商工会財部支所 ☎0986(72)3133

都城市 盆地まつり



- 期日=8月3日(土)(荒天順延)
- 時間=午後5時50分~9時30分
- 場所=中央通り、円頭庵通り、さくら通り(牟田町周辺)
- 内容=都城市最大のイベント。市民総踊りやダンスパフォーマンス、飲食・イベントブースもあり、祭りを盛り上げます。

☎=盆地まつり実行委員会 ☎0986(25)1405

環霧島・錦江湾奥イベント情報

環霧島探訪

—かんきりしまたんぼう—



えびのエココミュニティセンター



森川政人さん(右)と解説員の柳田香子さん

きりしまジオパークの拠点施設であるえびのエココミュニティセンターが7月20日、リニューアルオープンします。センターは、霧島連山の登山や火口湖めぐり(池めぐり)の出発点として、えびの高原の素晴らしい自然環境の中にあり、霧島の自然の様子などを、写真・映像・模型・標本などで分かりやすく紹介する自然博物館です。新燃岳の噴火など、えびの高原の環境は近年変化しています。

- オープニングセレモニー
- 開催日=7月20日(土)
- 時間=午前10時から
- 場所=えびのエココミュニティセンター
- 内容=テップカット、ウエルカムコンサートなど

【休館日】年中無休  
【開館時間】午前9時~午後5時  
【環境省えびの自然保護官事務所】の森川政人さんは、「霧島の自然情報が詰まった施設です。皆さん、ぜひ、遊びに来てください」と話していました。

が、これまでの展示は変化に対応できていない部分もありました。今回のリニューアルは、最新のえびの高原の自然環境を、より分かりやすく伝えるために行われるものです。リニューアルで、センターには、登山者の質問などにお答えする受け付けカウンターが設けられます。展示物では、「霧島山の独自性や成り立ちを紹介するコーナー」、「今と昔の霧島山の風景を写真で見比べるコーナー」などが新設されます。床一面には、環霧島エリアの航空写真が貼ってあります。環境省えびの自然保護官事務所

思い出の味を募集しています。住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、あなたの心に残る、食べたらなぜか元気になる味をエピソードとともにお願いします。採用された方には後日連絡の上、取材させていただきます。(宛先)〒899-4394 国分中央三丁目45番1号 秘書広報課「思い出の味」係

思い出の味  
なぜか元気になる  
Taste of memories



Recipe(レシピ)

◎山くらげときくらげの炒め物 4人分

【材 料】乾燥山くらげ60g、乾燥きくらげ15g、お好みで油揚げや厚揚げなど1枚、いりごま適量、砂糖大さじ2、みりん大さじ3、薄口しょうゆ大さじ3、酒大さじ2、ごま油適量

- 【作り方】
- ① 乾燥山くらげ、乾燥きくらげを一晩水につけておく。
  - ② 山くらげを4~5cmに切る。
  - ③ ごま油で山くらげ、きくらげを炒め、油抜きをした厚揚げ(油揚げ)を一口大に切り、一緒に炒める。
  - ④ 調味料で味を調え、いりごまを混ぜる。

霧 島国際音楽祭の季節がやってきました。今年で34回目を迎えるこの音楽祭は国内外の優れた音楽家が集い、期間中、さまざまなプログラムで霧島に素晴らしい音色を響かせます。霧島が世界に誇る音楽祭。地域との交流も深く、音楽祭を地元で支えている人たちがいます。「霧島母さんの台所」も音楽祭を支えるグループの一つ。来てくださった音楽家の皆さんに料理でおもてなしをしたいと25年前に活動を始めた。現在もビュッフェパーティーやランチバイキングで料理を提供しています。活動当初から携わる川原ハツミさん(83)は、「立派な料理は出せませんが、地元の食材を使った料理をたくさん並べます。霧島ならではの味で、感謝の気持ちを伝えたくて」とほほ笑みます。

おもてなしの心伝わる

「25年の交流で、生まれた絆があります。年に一度会えるこの日が楽しみで、精いっぱい心を込めて調理します。食べた方の『これぞ霧島の味。懐かしい』と喜ぶ笑顔が私たちの元気の源です。これからもずっと続けていきたい」おもてなしの心は霧島の味とともに、音楽祭参加者の舌と心に響いています。



◎牧園町高千穂 川原ハツミさん(83)



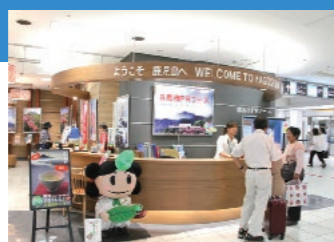
主要事業一覧

事務事業名
農林漁業経営体への支援
家畜導入及び保留補助事業
鳥獣被害防除・捕獲対策事業
漁業資源放流支援事業
生産基盤の整備
農地振興総合整備事業 (むらづくり交付金)
農山漁村活性化プロジェクト 支援交付金事業
集落営農の推進
中山間地域等直接支払事業
農林水産業の 新規就労(就農)の支援
農業公社設立準備事業
青年就農給付金事業
農林水産物の ブランド化の推進
全国茶品評会出品支援事業
商工業者に対する経営支援
住宅リフォーム支援事業
プレミアム商品券発行助成事業
商工業資金利子補給事業
観光客誘致宣伝活動の展開
観光宣伝事業
観光誘客事業
地域の特色を活かした 観光資源の開発
スポーツ団体誘致歓迎実行委員会 運営事業
国立公園「霧島」指定80周年記念事業
観光客の受け入れ体制充実
妙見路線バス運行事業
霧島連山周遊バス運行事業
海外からの観光客の誘致
外国人観光客誘致促進事業
企業の誘致
企業誘致推進事業



霧島産物等ブランド確立PR事業

**安心・安全な霧島農産物** ☎=農政畜産課 ☎(64)0910  
霧島市の農産物を広くPRし、地場農産物のブランド化へのきっかけづくりとなるPR事業を展開します。また、地産地消への理解を促進するため、地元商店街などのイベントを活用し、消費拡大・地域活性化を目的とした事業などを実施します。



空港PRブース管理運営事業

**空の玄関口で霧島をPR** ☎=観光課 ☎(64)0895  
平成24年10月から空港ビル1階の到着口前に霧島市PRブースを開設。市観光協会のスタッフが霧島市の旬な観光情報や最新のイベント、観光ルートなどの情報を提供。お茶コーナーでは霧島茶と関平鉱泉水で特産品のPRとおもてなしを実施中。



県営土地改良参画事業

**食を守る農地改良** ☎=耕地課 ☎(64)0911  
県が事業主体となる土地改良事業に市が事業費の一部を負担し、農業にとって基本となる土地と水の効率的な利用化を図ります。生産性の高い農業のための大規模ほ場整備と必要なときに水を使うことができるかんがい排水施設の整備を目指します。



商店街活性化支援事業

**商店街活性化で明るいまちを** ☎=商工振興課 ☎(64)0912  
商工業の活性化のため、商店街のにぎわいを支援するための街路灯設置や修繕、夏祭りなどのイベントの開催など通り会などで実施する施設整備事業と計画策定・調査・イベント事業への助成をします。



工業団地整備事業

**工業団地整備で雇用創出** ☎=商工振興課 ☎(64)0912  
大規模工業団地として整備することにより、工業の振興と雇用の増大を図ります。現在、国分上小川地区において約11㍍の造成工事に着手しており、平成25年度末の完成を目指しています。

「人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市」を目指して  
**霧島市の未来予想図**

第一次霧島市総合計画7つの柱

- ①快適で魅力あるまちづくり ②自然にやさしいまちづくり ③活力ある産業のまちづくり ④育み磨きあうまちづくり
- ⑤たすけあい支えあうまちづくり ⑥共生・協働のまちづくり ⑦新たな行政経営によるまちづくり

第3節 活力ある産業のまちづくり



高千穂峰御鉢の馬の背

観光客誘致事業  
[観光で霧島を元気に!]

鹿児島空港所在地として、広く国内外からの観光客誘致活動を推進し、海・山・川など本市の魅力ある情報を積極的に発信しながら、観光関係者や地域の皆さまと共におもてなしの充実に努め、新規誘客と再び訪れたい観光地を目指します。

☎=観光課 ☎(64)0895



一般財団法人自然公園財団高千穂河原支部  
(高千穂河原ビジターセンター勤務)  
田村理江さん(22) (千葉県匝瑳市出身)

どこを見ても美しい霧島山に魅了されています。主な仕事は来年誕生80周年を迎える国立公園「霧島」の維持管理です。霧島山は一部登山道も再開され、森の散策や火山を学ぶには最適。市や観光協会の皆さんと「来てよかった」「また来たい」と思っていたただけるように心掛けています。一度来た方もぜひお越しください。

産業の活力を生かす

霧島市では先端技術産業を中心とする製造業、お茶や畜産物などに代表される農林水産業、旅館・ホテルなどの観光業、多種多様な商店による商業などが営まれています。地域経済の発展には産業の活性化が重要です。このため、企業誘致、農業、観光業を中心とした人材育成、商業における買い物しやすい環境づくりなどを推進します。

農業については、地域農業の振興に貢献する意欲ある担い手農家の育成を図ります。また、農業が持つ多面的機能の発揮、食料の安定供給確保のための支援を総合的に実施。農業者が自信と誇りを持つような環境整備に努めます。

全国茶品評会で産地賞と農林水産大臣賞を受賞した霧島茶をはじめ、多種多様な農産物が生産される地域性を活かして、霧島の知名度向上に向けたPR活動を展開します。

畜産振興については、家畜の増頭、牛舎整備などの支援を行います。経営安定と後継

者の育成などを図り、家畜伝染病の防疫対策にも努めます。

農地・農道・用排水路整備などを計画的に実施。農業用施設の長寿命化、耕作放棄地の未然防止など農地保全対策に取り組み、農業生産性の向上や農山村の景観の保全に努めます。

商工業の振興については、「元氣！霧島パワーアッププラン」と銘打った市独自の経済対策を実施します。

観光業の振興では、九州新幹線全線開通や鹿児島空港における台湾線定期便、格安航空路線開設などを生かすため、国内外において魅力あふれる観光情報の発信に努めます。食や自然を生かした体験型・着地型の観光事業にも取り組み、訪れたお客さまには関係者の皆さまと一体となったおもてなし活動を推進します。

企業誘致は合併後30の企業と立地協定を締結。昨年度、新たに農林産物を工業的に生産する施設も追加した補助金制度のPRや企業訪問を積極的に展開することにより企業立地につなげます。

郷土史への扉

隼人の抵抗 ②

シリーズ大隅国を知る ⑥

今回は、隼人の人々がなぜ朝廷に抵抗しなければならなかったのかについて述べましたが、今回は一年数か月に及ぶ戦いの様子と場所（山城）について紹介します。

一 隼人の戦いの経緯

隼人の抵抗については、「続日本紀」に部分的に記されていますが、要約すると次のようになります。

- ◎ 養老四（720）年二月、隼人が反いて大隅国守陽侯史麻呂を殺した。
- ◎ 養老四年三月、大伴旅人を征隼人将軍として隼人討伐を命じた。
- ◎ 養老四年八月、大伴旅人の帰京を命じ、副将軍以下は現地に留めた。
- ◎ 養老五年七月、副将軍が帰京した。斬首並びに捕虜とした者千四百余人り。
- ◎ 養老六年四月、戦功をあげた者に勲位を与えた。
- ◎ 養老七年五月、大隅・薩摩の民六百二十四人が朝廷に向き貢物を贈った。

た。天皇が隼人を歓迎し、族長三十四人に官位と祿を与えた。

◎ 養老七年六月、隼人は帰郷した。このように、隼人の抵抗は苛烈を極め、一年以上続きましたが、養老四年八月に大伴旅人を帰京させたことから戦いの大勢は決まりました。

これは、大分県宇佐八幡宮に伝わる「八幡宇佐宮御託宣集」の中に、「隼人は大隅・日向国に七か所の城を構えていた。最初に五か所の城が落ちたが、曾於之石城・比売乃城は堅固でなかなか落ちなかった」と記されており、広範囲で抵抗していた隼人軍を、二つの城を残して、打ち滅ぼしていったことがうかがえます。

二 七つの城

先月号でも述べましたが、一万人を超す朝廷軍に対して、隼人側は民衆を合わせて数千人規模だったにもかかわらず、一年数か月に及ぶ長い間、抵抗し続けられたのは、堅固な城があった

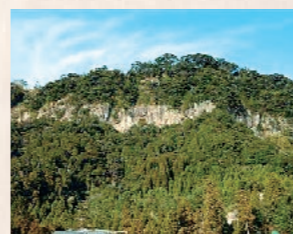
ためだと思われる。

「八幡宇佐宮御託宣集」の中には、奴久良・幸原・神野・牛屎・志加牟・曾於之石城・比売乃城の七つの城名が記されています。このうちの曾於之石城は国分の城山公園（隼人城）で、比売乃城は姫木城と思われるが、そのほかの城については、はっきりしていません。いずれも非常に険しい地形を生かした山城だったと思われる。

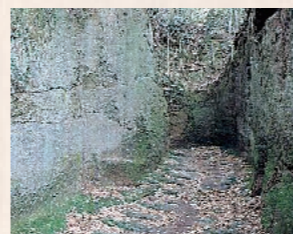
三 曾於之石城と比売乃城

では、最後まで抵抗した「曾於之石城・比売乃城」とはどのような山城だったのでしょうか。

曾於乃石城（隼人城）は、国分市街地の北側にあり、山頂部は標高一九二メートルで、わりあい平坦部になっていますが、周囲は険しい垂直の絶壁で囲まれており容易に攻めることが難しい天然の要害となっています。城内には数か所の湧水地があり、籠城で欠かすことのできない水にも恵まれていました。



曾於之石城（隼人城）



隼人城搦手門



比売乃城（姫木城）

また、断崖の岩をくりぬいて造った搦手門（裏門）の跡が残っており、堅固な城であったことを示しています。

一方、比売乃城（姫木城）は、国分平野の中央北側にあり、標高一七〇メートル、最大幅約二〇〇メートル、長さ約一〇〇メートルの細長い山城で、曾於之石城と同様に周囲は険しい垂直の絶壁で囲まれています。山頂部の平坦地は狭く起伏が多いため、南端部に一際高い国分岳がそびえ、眼下に大隅国府や国分平野を一望する山城です。

隼人軍はこの二つの山城で最後まで朝廷軍を迎えて戦いました。隼人の人たちは、切り立った絶壁に守られながら激しく抵抗し、遠征軍を苦しめたことでしょうか。また、両方の山城は遠望することができ、苦しい時はお互いに狼煙や旗などで励まし合い、最後まで戦い抜いたのではないのでしょうか。

隼人の抵抗のあとの様子については次回紹介します。

（文責＝鈴）

健康 くりしま21

HEALTHY LECTURE

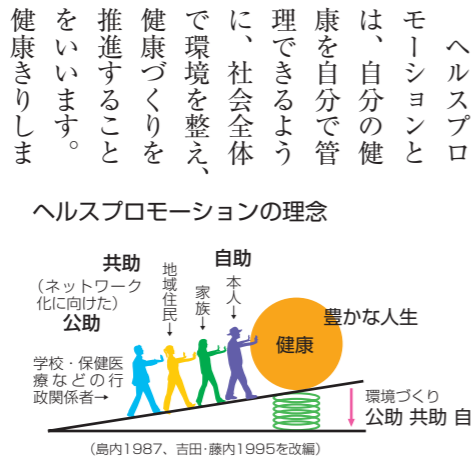
やさしい健康講座

健康増進課

笑顔が自然とこぼれる霧島市 ～そのこぼれがごんくせい、ありがとう～

私たちのまち霧島市は、一人一人が普段の生活の中で高い健康意識を持ち、日々実践し、健康で生きがいに満ちた、笑顔が自然とこぼれるまちを目指すため、霧島市健康増進計画である「健康くりしま21（第2次）」を策定しました。計画の期間は平成25年度から平成29年度の5年間です。

ヘルスプロモーションの理念

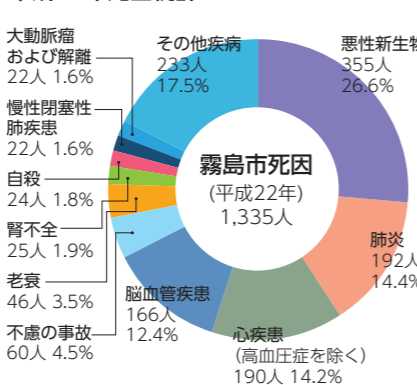


21は、この考え方を基本に、個人、家族、地域、関係機関・団体などが一体となって取り組む健康・生きがいづくりの計画となっております。市では健康生きがいづくり推進モデル事業を進めるなど、環境づくりに取り組んでいます。

霧島市民の健康状況

平成22年の死亡者の死因は、第1位が悪性新生物（がん）で26.6%、第2位は肺炎で14.4%、第3位が心疾患で14.2%です。死因の1位を占める「がん」への対策は重要な課題となっています。

平成22年死因統計

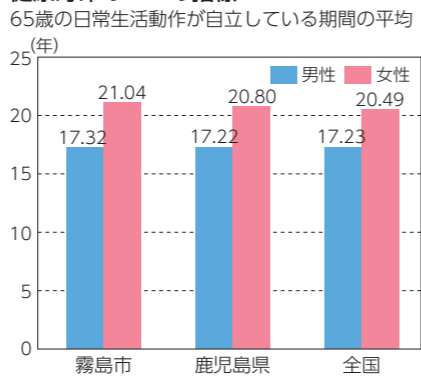


また、ライフスタイルや個人の価値観の多様化などで、人間関係が希薄化し心の問題も生じてきています。このような現状を踏まえ、行政だけでなく、各種団体や市民の代表で構成された「霧島市健康生きがいづくり推進協議会」での協議のもと、3つの最終目標を設定しました。

1 のばせ、健康寿命

健康寿命とは、健康の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間です。健康寿命の一つの指標である

健康寿命の一つの指標



「65歳の日常生活が自立している期間の平均」をみると、本市は鹿児島県・全国より長くなっています。さらに健康寿命を延ばすため、生涯を通じた健康づくりの推進に取り組んでいきます。

2 早世を減らそう

早世とは65歳未満で亡くなる（早く世を去る）ことで、生活習慣病などの対策を充実させ早世の減少に努めます。

3 生活の質を向上しよう

健康上の問題の有無に関わらず、生きがいを持って日常生活を過ごすことができるよう、健康・生きがいづくりの取り組みを推進していきます。

※次回は市が取り組む重要対策について掲載します。



健康増進課 ☎(64) 09055

# Recruitment

◎募集

## きりしま舞台塾 ジュニア編

普段目にするのではない舞台裏を体験できる舞台ワークショップを開催します。

- 日時 8月27日(火)午後1時～3時
- 場所 霧島市民会館
- 定員 30人(申込多数の場合は抽選、参加無料)
- 対象 小学4年～中学3年生
- 申込方法 官製はがきに参加者名、学年、保護者名、住所、電話番号、ファクス

## 乗馬体験スクール

番号またはメールアドレスを明記して郵送または市民会館内の申込用紙で提出。

- 申込期限 8月10日(土)
- ◎ 霧島市民会館 ☎(64)0926-1899-1433
- 2 国分中央三丁目8-1
- 期日 8月1日(木)～30日(金)の平日
- 時間 午前9時30分から午後2時30分
- 10分コース(全6回) 1万円(保険料込み)

## 弓道入門講座

- 20分コース(全5回) 1万4000円(保険料込み)
- 対象 身長130cm以上の方
- 申込期限 7月28日(日)
- ◎ 霧島高原乗馬クラブ ☎(78)3455
- 期日 7月26日～9月27日(毎週金曜日、相談次第で金曜日以外も可)
- 時間 午後7時～8時30分
- 対象 市内在住の成人
- 参加料 無料
- 場所 単人弓道場

- 申込期限 7月25日(木)
- ◎ 単人弓道連盟(横江) ☎(42)5678

## 親子で手作り雑貨講座

- 日時 8月7日(水)午後1時30分～3時30分
- 場所 働く婦人の家
- 対象 市内在住の小学生以上の子どもとその保護者など(2人1組)
- 費用 1組500円程度
- 定員 15組(先着順)
- 申込方法 電話で。受付時間は、平日は午前8時30分



午後8時30分、土曜は午後4時30分まで。

かわいくできた手づくりの写真立て

# Energy saving

◎省エネ

## ワットチェッカーを貸し出しています

節電、省エネルギーに取り組むご家庭に、電気機器の消費電力などを測定できる機器「ワットチェッカー」を貸し出しています。

機器の使い方や数字の見方などについては、窓口で説明します。返却時に簡単なアンケートに協力いただきます。

- 対象者 市内在住の方。世帯1台まで。(先着順)
- 貸出期間 3か月以内。




ワットチェッカー

- ◎ 環境衛生課生活環境政策グループ ☎(64)0961

- 申込方法 窓口で。免許証、市民カードなど本人確認ができるものをご持参ください。

## 九州電力からのお願い・お知らせ



今年の夏は、生活・健康や生産・経済活動に支障のない範囲で節電へのご協力をお願いします。

- 期間 9月30日まで(8月13日～8月15日を除く)
- 時間 午前9時～午後8時(特に電力需要が高くなる午後1時～5時は重点的な節電をお願いします)

## 台風時の停電情報をチェック

台風による停電時は、電話がつながりにくくなることがあります。台風など非常災害時の停電情報は下記のホームページでもご確認いただけます。

携帯電話版ホームページ  
<http://kyuden.jp>

パソコン版ホームページ  
<http://www.kyuden.co.jp>

## 携帯メールサービス

台風による停電時には、ご登録いただいた携帯電話に停電情報をメール配信いたします。詳しくは、上記ホームページをご覧ください。

九州電力 九州電力株霧島営業所 ☎0120-986-803

# Tax

◎税務情報

## 国民健康保険・後期高齢者医療保険被保険者証更新

現在交付されている国民健康保険証・後期高齢者医療保険証の有効期限は、平成25年7月31日までです。新しい保険証は、7月末までに簡易書留郵便で送付します。8月1日を通じても保険証が届かない場合は、担当課に問い合わせください。

国民健康保険証は世帯主宛て、後期高齢者医療保険証は本人宛てに送付します。(世帯に被保険者が複数いる場合は世帯ごとに送付)

- 内容を確認しましょう
- 保険証の切り替えは資格内容を確認するために行うものです。記載内容に誤りがないか、国民健康保険の場合、国民健康保険以外の保険に加入された方の保険証が含まれていないか確認し、資格内容に誤りなどがある場合には必ず担当窓口で手続きをしてください。
- 納付相談をしましょう
- 国民健康保険税を滞納され

帯に被保険者が複数いる場合は世帯ごとに送付)

●内容を確認しましょう

●保険証の切り替えは資格内容を確認するために行うものです。記載内容に誤りがないか、国民健康保険の場合、国民健康保険以外の保険に加入された方の保険証が含まれていないか確認し、資格内容に誤りなどがある場合には必ず担当窓口で手続きをしてください。

●納付相談をしましょう

●国民健康保険税を滞納され

## 電子証明書に係るサービスの一時停止

公的個人認証サービスの更新作業に伴い、次のとおり

ている世帯には、通常の保険証を送付できません。7月中旬に納付相談にお越しの上、担当窓口で保険証の更新手続きをしてください。

※古い保険証はお近くの担当窓口に返却してください。

◎ 保険年金課国民健康保険グループ ☎(64)0886

サービスの一部が停止します。詳しくは問い合わせください。

- 市役所窓口での手続き
- 停止期間 7月29日(月)～30日(火)
- 停止するサービス 電子証明書

サービスの一部が停止します。詳しくは問い合わせください。

- 市役所窓口での手続き
- 停止期間 7月29日(月)～30日(火)
- 停止するサービス 電子証明書

## 税金などを納付できる場所が増えます

新たに次の金融機関で税金などの納付が可能になります。

- 金融機関の名称 九州労働金庫霧島支店
- 住所 国分中央五丁目3-13
- 開始日 7月29日(月)から
- ◎ 会計課 ☎(64)0913

# Election

◎選挙

## インターネット選挙運動が解禁されました

公職選挙法の一部が改正され、7月に執行される参議院議員通常選挙からインターネットなどを利用した選挙運動のうち一定のものが解禁されました。これにより、有権者はインターネットを通じて政党や候補者からの情報を得ることができるようになり、政党や候補者を応援したり、友達に紹介したりすることができるようになります。ただ

## 有権者ができること

有権者は、ウェブサイトをどのように利用した選挙運動が可能となります。(有権者が電子メールを利用して選挙運動することは、引き続き禁止されています)

【候補者などができること】

候補者・政党などは、ウェブ

## 処罰の対象となる禁止行為

有権者は電子メールを使って選挙運動をしてはいけません。

- 未成年者の選挙運動は禁止されています。
- ホームページや電子メールなどを印刷して頒布してはいけません。
- 選挙運動期間外に選挙運動をしてはいけません。
- 候補者に関し、虚偽の事項

## 用語の解説

- 選挙運動 特定の選挙について、特定の候補者の当選を目的とし、投票を得、または得させるために、直接または間接に有利な行為のこと。
- 選挙運動期間 選挙の公示

## 選挙管理委員会事務局

または告示日から投票日前日までの期間。(選挙の種類により異なります)

- 電子メール 通信方式がSMTP方式および電話番号方式のもの。
- ウェブサイトを電子メール以外の通信方式を用いるもので、ホームページ、ブログ、ツイッターやフェイスブックなどのSNS、動画共有サービス、動画中継サイトなど。
- ◎ 選挙管理委員会事務局 ☎(42)1143



市からのお知らせや募集などの情報をお届けします。

詳細な情報は掲載されている問い合わせ先に、ご連絡ください。

※**問**=問い合わせ先 **申**=申し込み先  
 ※**健マ**=[健康マイレージ]対象の事業(20歳以上が対象)  
 健康マイレージについての問い合わせは、  
 健康増進課健康づくり推進室 ☎(45)5111(内線2181)

## お知らせ

### 肝炎ウイルス夜間検査

肝炎に関する正しい知識や予防などの普及啓発の一環として、肝炎ウイルスの夜間検査を実施します。

- 日時=7月25日(木) 午後5時～7時
- 場所=始良保健所(霧島市隼人町松永)
- 申込方法=電話で。(予約は検査当日の午後5時まで)
- その他=検査料無料、秘密厳守(個室対応)

**問・申**=始良・伊佐地域振興局健康企画課疾病対策係 ☎(44)7956

### 平成26年度がけ地近接等危険住宅移転事業

がけ地の崩壊などにより被害を受ける恐れのある住宅を安全な場所へ移転をするための補助金を交付します。移転を考えている方は問い合わせください。(補助金の交付は来年度になります)

- 補助対象=昭和46年8月31日以前にがけ地の近くに建設され、現に居住している住宅。
- 補助対象経費=移転に際し、住宅の除却(限度額あり)および新たな住宅の新築・購入のために金融機関から融資を受けた借入金の利子相当分(限度額あり)に係る経費。

●問い合わせ期限=8月9日(金)

**問**=建築住宅課 ☎(64)0909

### 隼人駅東地区土地区画整理事業事業計画(第1回変更案)の縦覧

- 期間=7月16日(火)～29日(月) 午前8時15分～午後5時(土日縦覧可)
- 場所=本庁国分庁舎区画整理課

**問**=区画整理課業務第3グループ ☎(64)0989

### 社会を明るくする運動

7月は「社会を明るくする運動」の強調月間です。犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい地域社会の実現を目指しましょう。

【行動目標】

- 犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう。

- 犯罪や非行に陥らないよう地域社会で支えよう。
- これらの点について地域社会の理解が得られるよう協力しよう。

**問**=鹿児島保護観察所企画調整課 ☎099(226)1556

### 国分駐屯地夏祭り

- 日時=8月7日(水) 午後5時～9時15分
- 場所=陸上自衛隊国分駐屯地
- 内容=音楽演奏・総おどり・余興・模擬店など。

※内容、時間は変更になる場合があります。

**問**=陸上自衛隊国分駐屯地広報班 ☎(46)0350(内線419・227)

### 牧園B&G海洋センタープールオープン

- 日時=7月1日(月)～9月30日(月) 午前9時～午後5時(夏休み期間は午後9時まで、毎週水曜日休み)
- 料金=大人/200円、子ども(小中高生)/65歳以上/100円 ※幼児は無料(ただし保護者同伴)

**問**=牧園B&G海洋センター ☎(78)3770

### 国分総合プールの大会専用使用日

夏季期間中に次の日程で水泳大会が予定されているため、一般の方の利用が制限されます。

日付	時間	使用制限プール
7/20(土)	7:30～16:30	25M
7/23(火)	7:00～18:30	25M、50M
7/26(金)	7:00～14:30	25M、50M
8/4(日)	8:30～18:30	25M、50M
8/9(金)	13:00～17:30	25M
8/25(日)	7:30～16:30	50M
9/1(日)	8:00～18:30	25M、50M
9/3(火)	8:00～17:30	50M
9/22(日)	10:00～13:30	25M、50M

※上記から追加・変更される場合もあります。

※大会日は、溪流下りも利用できません。

**問**=国分総合プール ☎(46)9400

### 市街地での大型車両の往来が増えます

国分地区の上小川工業団地造成工事のため、市街地で工事用大型車両の往来が多くなります。

市民の皆さまには、何かとご迷惑をおかけしますが、通行する際はご注意くださいようご協力をお願いします。

- 期間=7月中旬～1月下旬(予定)
- 時間=午前8時～午後5時まで(日曜日を除く)
- 経路=【北永野田・小浜線ルート】小野小学校～見次交差点～川跡交差点～造成地、【国道10号ルート】小野小学校～A-Z前交差点～広瀬西交差点～川跡交差点～造成地

**問**=商工振興課 ☎(64)0903、土地開発公社 ☎(42)2023

## 募 集

### 建築物のアスベスト分析調査に対する補助

民間建築物のアスベスト分析調査費用に対して補助金を交付します。申請額が予算に達し次第、終了します。

- 対象者
    - 建築物の所有者などであること。
    - 建築物に係る分析調査を分析機関に委託するものであること。
    - 市税などを滞納していないこと。
  - 対象建築物
    - 平成18年9月30日以前に建築(竣工)された建築物。
    - 本市の区域内にある民間建築物で、吹き付けアスベストなどが施工されている恐れがある建築物。
    - 国、県および公共団体から、この告示と同様の補助金などの交付を受けていない民間建築物。
  - 補助額=調査分析費用から消費税を除いた全額(限度額25万円)
  - 申込期限=11月29日(金)
- 問・申**=建築指導課 ☎(64)0954

### 上級救命講習会

救命知識・技術の習得のため、心肺蘇生法、AEDの取り扱い、応急手当法および患者搬送などを学習します。

- 対象者=市内在住、在勤在学の中学生以上の方。
- 日時=8月10日(土) 午前8時30分～午後5時30分
- 場所=消防局消防本部3階会議室
- 定員/申込方法=30人(先着順)/電話で。
- 受講料=テキスト代として2,500円程度。
- 申込期限=8月5日(月)

**問・申**=消防局警防課救急救助係 ☎(64)0432

### 国際交流員と交流しよう

コース名	英語で ティー タイム <b>健マ</b>	国際交流 お菓子作り <b>健マ</b>	中国の切り紙を 学びましょう
日 時	7/31(水) 14:00～15:00	8/7(水) 14:00～16:30	8/8(木) 14:00～15:30
場 所	国分公民館2階 調理講義室	国分公民館2階 調理実習室・講義室	国分公民館3階 中会議室
定 員	15人 (英語初級レベル の方、先着順)	15人 (先着順)	15人 (先着順)
参加料	無料	300円 (保険料込み)	無料
申込期限	7/24(水)	7/31(水)	7/25(木)

**問・申**=企画政策課国際交流グループ ☎(64)0914

### 戦没者遺児による慰霊友好親善事業参加者募集

戦没者の遺児を対象に、旧戦域での慰霊追悼や同地域の住民と友好親善を図ることを目的とした慰霊友好親

善事業の参加者を募集します。詳細は問い合わせください。

**問**=財)日本遺族会事務局 ☎03(3261)5521

**申**=鹿児島県遺族会 ☎099(812)8292

### 男女共同参画基礎講座

男女共同参画について基礎からやさしく学んでみませんか。(参加無料)

開催日時	テーマ	講師
8/4(日) 10:00～12:00	男女共同参画の基本的考え方について	たもつゆかりさん (オフィスビュア代表)
8/25(日) 10:00～12:00	ワークショップ ～男女共同参画を知って、 確かに、ゆるやかにつな がろう!～	高崎 恵さん (オフィスビュア研究員)

- 場所=国分公民館3階大会議室
- 定員=各回60人程度(先着順)
- 申込期限=7月31日(水)

**問**=企画政策課男女共同参画推進グループ ☎(64)0914

### 人権教育啓発推進者養成講座

地域・職場で活躍していただく人権教育啓発推進者を養成する講座を開設します。全8回で6回以上受講の方に修了証を発行します。(参加無料)

- 日時=8月～11月(第1、3金曜日) 午後7時～9時
- 場所=隼人公民館ほか
- 対象者=霧島市内に居住または勤務する成人
- 募集人員=約50人(申込多数の場合は抽選)
- 申込方法=電話かファクスで。(申込用紙は市ホームページからダウンロードできます)
- 申込締切=7月19日(金)

**問・申**=生涯学習課 ☎(42)1118、FAX(43)5380

### 隼人運動施設情報

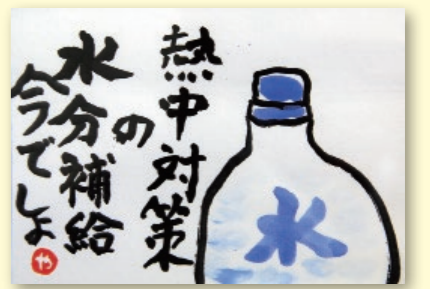
施設名	隼人健康 温水プール	隼人 庭球場 <b>健マ</b>	隼人 温水プール <b>健マ</b>
講座名	障がい者のための バリアフリー 水中ウォーキング 教室(後期)	テニス講座 (後期)	水中トレーニング 教室(後期)
期 間	8月10日から (毎週土曜、全10回)	8月21日から (毎週水曜、全10回)	8月22日から (毎週木曜、全10回)
時 間	10:00～12:00	19:00～21:00	10:00～12:00
定 員 (対象)	15人 (成年)	30人 (成年・初心者)	20人 (成年)
受講料	無料	1,500円	1,500円

**問**=NPO法人隼人錦江スポーツクラブ ☎(55)0188

### 発達に関する学習会の募集を終了します

広報誌5月お知らせ版で募集した「発達に関する学習会」は、基礎編、応用編全ての回で定員に達しましたので、募集を終了いたします。ご了承ください。

**問**=こども発達サポートセンター ☎(64)0925



岩切康代さん(国分)

## Readers Voice 読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



**6**月、2泊3日で震災のあった宮城県仙台市周辺を訪ねてきました。2年経った今でもポツンと人のいない立派な家の存在が寂しげでした。海の近くで子どもや先生たちが被災した小学校は取り壊され、すぐ横の空き地には慰霊碑とお地藏様がまつられ、涙が止まりませんでした。

ととかいろいろな思いを持って登山したことでしょう。私も子どもを連れて登山してみようかなと思いました。(思い出づくり40歳男性)

**梅** 雨が明けると暑い夏が訪れ各所で夏祭りや盆踊りが催されます。お祭りは日ごろ私たちのまちや住人をお守りする神様、ご先祖様に対する感謝の意の表現であり、併せて幼きころの思い出を作り出してくれるものです。

さい。7月28日(日)午後4時、熊野神社(隼人町浜之市)(神社氏子総代80歳男性)

私も木枠に障子紙を張った灯ろうに絵を書いた記憶があります。これからも地域のお祭りとして続きますように。

**霧** 島町で生まれ育った私は霧島をこよなく愛し、自然や人や食べ物などに感謝の気持ちでいっぱいです。現在、埼玉県に住み、毎日、心の中で「おやっとなあ」「またごあんそ」と「鹿兒島弁」を語っています。

なるほど観光宣伝隊は13万人プラスアルファ。どこにいてもふるさとを愛する気持ちは同じです。

津波が押し寄せ、塩害に遭った田んぼがカチカチに固まり、辺り一面の茶色い風景を目の当たりにして、復興が進んでいないもどかしさに長い時間と被災地の皆さまへの配慮が必要だと感じました。(チューリップママ53歳女性)

登る前はきつそうに感じますが、登りきるとすてきな景色が待っています。

**国** 分高等学校の創立記念登山の記事を読んですごく興味が湧きました。登山を通じて今までの思い出やこれからも困難なときにチャレンジしていけば克服できること

**荒** 果てた田んぼや畑がが家も夫の病気のため、今年からセイタカアワダチソウやカヤの棚田になるのかと心を痛めておりました。秋の実り

を諦めていたところ、2、3人のグループが「耕作してみよう」と言ってくれ、ほっとしました。

でも一度も農業をしたことのない人たちがばかりで農協に向いていろいろ勉強したとか。秋に黄金色の棚田になるのがとても楽しみです。街ばかりではなく、山手の村にも緑や黄金の明かりが灯り、人々が喜びあつて住むことのできるまちになったらいいのじゃないか。(お山のバーチャン74歳女性)

荒れていく棚田に胸が痛みます。隼人町小浜地区でも棚田を守ろうと地域で頑張つて

いる人たちがいます。**定** 年々体にガタがきて気持ち沈む日々。ある日ニユースで全盲の高校生が全力で走っている姿を目にした。彼は全力で必死に走っていた。聞けば霧島市出身ということに二度驚いた。あの子に比べるとまだなんでもできる体なのに「どうせ」という言葉で逃げていた自分を恥じた。老いぼれても今の自分にできることから始めようと思いきり気が晴れやかになった。(老いぼれジジイ67歳男性)

無いことを嘆くよりも有る霧島茶としてブランドが統

ことに感謝し、生かすことが大事なのですね。**社** 会科見学を終えて帰宅するなり、「お茶の葉と急須と湯さましある？」と聞く小学3年の娘。製茶工場の見学で茶摘み体験やお茶の入れ方を教わったそうです。

初めて娘が入れてくれたお茶は鮮やかな緑色の甘くて優しい味でした。手軽に飲めるペットボトルのお茶もおいしのですが、家では急須を使いおいしい霧島茶を娘と一緒に入れたいと思います。(Fママ34歳女性)

霧島茶としてブランドが統

一されて4年。まだまだ知名度を上げることが大事。みんなで霧島茶を飲みましょう。

**5** 月下旬に関西に住む友人が娘さん(20代)と二人で鹿兒島に遊びに来てくれました。私が車で案内。指宿の砂むしや黒酢料理を喜んでのはもちろんですが、至る所に湧き出る温泉と屋根付きのお墓に驚いていました。私はいつでも行ける安楽・妙見・日当山温泉などの恵まれない環境(手頃な入浴料)に住んでいることをうらやましがられ、「私っていいところに住んでいるんだ」と改め

ら福山経由で国道220号を走っていた時など、車窓から見える屋根のあるお墓を見て「わあ、何これ、すごい」の連発。見慣れた光景だったのでその反応にびっくり。嘉例川駅近くの整然と並ぶお墓にも感心しきりでした。「また格安航空運賃ですぐ来るから」と言っていました。かなり本気です。(桃子53歳女性)

このほかに3通のものがきがありました。文章は添削させていただきます。

### 若者掲示板



**ふるさと霧島夏祭り実行委員会**  
☎=霧島市商工会霧島支所 ☎(57)0121  
http://furusato-kirishima.com

このまちが大好きで、みんなが花火を喜んでいる姿を見たくて、霧島地区を、そして、霧島市を盛り上げたくて若者が集まり活動しています。

「ふるさと霧島夏祭り」は、毎年霧島地区(旧霧島町)で開催しています。

夏祭り実行委員や夏祭り当日のスタッフとして、私たちと一緒に汗を流して霧島を盛り上げてみませんか。

●日時=8月10日(土)17:00~21:30

●霧島検定クイズ=優勝は「霧島産黒豚丸ごと1頭分」

●抽選会=特等は50型フルハイビジョン液晶テレビ



### 8.1災害を振り返る



平成5年に起きた豪雨災害から20年。その節目となる今年、記憶を風化させることなく、改めて教訓などを確認し、地域防災意識の啓発を行います。

●日時=7月29日(月)午後6時00分~7時30分

●場所=国分シビックセンター多目的ホール

●内容=映像や写真で当時の状況を振り返り、災害復旧に携わった方の体験談や災害以降の防災対策などについて紹介します。

☎=安心安全課 ☎(64)0997

私は、単人の病院で作業療法士という仕事をしています。作業療法とは一般にリハビリと言われる分野の仕事です。そのため、普段患者さまの思い出話を聞かせていただく機会が多くあり、私はその話が大好きです。皆さんはご存じでしょうか。日当山という地



松留孝一さん(左から2番目)から陶芸を通してさまざまなことを教わるアプリットのメンバー

## その人らしい生活を

◎西園 龍

域は観光のまちとして栄え、旅館や飲み屋、スナックなどがあり、繁華街としてにぎわっていたそうです。これは当時旅館でお手伝いをされていた女性に教えていただきました。ほかに、駆け落ち結婚された方、踊りの師匠をされていた方、日当山小学校の

先生など、どなたもすてきな物語をお持ちです。皆さんのお話から当時の街並みや風景を想像すると幸せな気持ちになります。こんなすてきな方々が物語を紡いでこられたこのまちがたまらなく好きです。病院に勤めているとよく感じることはありません。それは、障害や病気に思い悩んでいる方は、自分のしたいことや楽しみを想像する力がとても弱くなってしまうということです。以前、私の担当する患者さまは、今後の生活のことを「生きていけるので精いっぱい」と言われました。…生きていけるので精いっぱい。私には無理。そんなことを望めない…。こういった発言をされる方は少なくありません。それは、障害や病気が心の中で大きくなり、心がそこから動けなくなってしまうからだと思えます。これは障がい者の方に限ったことではありません。地域で暮らす高齢者の方にも老いに対する不安、体に関する心配を抱えてそこから動け

なくなっている方がたくさんいます。人生で「生きがい」や「役割」を失ってしまうことは「その人らしさ」を見失わせ、人の心と体の健康に大きな影響を与えます。私は霧島市が「その人らしい」生活を守るまちであってほしいと思います。その人にとって大切だと思う作業や生活が守られ、心が健康でいられるまち。活動的で貢献的な人であふれ、地域の行事に参加し、地域の子どもの成長をみんなで見守るまち。現在、私は友人と一緒に陶芸を習っています。72歳の先生は陶芸だけでなく、さまざまな事を私たちに教えてくださる存在です。障害があっても、年を取っても、車いすでも、地域で「その人らしい」生活を送ることはできます。それには、地域の人の関わりが大きな力となります。特別なことではなく、例えば、ちょっと声を掛けてみる、少し顔をのぞいてみる、たまに一緒にお茶をする、そ



### Profile

にしその りょう (24)

第一リハビリ専門学校を卒業後、単人温泉病院に就職。現在は夜間に鹿児島大学大学院に通い、障がい者・高齢者の心理について勉強中。今年度、医療・福祉関連の仲間と地域リハビリ推進ボランティア・APLIT (アプリット) を結成。All People Live Together [全ての人が共に生きる] の頭文字を取って名付けた。今後、生きがい支援や相談支援など独自の活動を提供していきたい。APLIT HP <http://aplit.web.fc2.com/>

んな何気ない関わりが心強いのです。私は今年度、同じように「その人らしい生活を支援したい」と考える医療・福祉関係の仲間とボランティア団体「アプリット」を結成しました。地域の方々の互助活動支援、高齢者・障がい者の方の生きがい支援、ご家族への相談支援などを中心に行っていきたいと考えています。微力ではありますが、こういった小さな力の集まりが「その人らしさのまち」霧島市の未来につながればと思います。

◎お便りをくださった方の中から霧島のブランド「霧島茶」を5人の方にプレゼント。応募締め切りは7月19日(金) 当日消印有効です。※当選の発表は、商品の発送を持ってかえさせていただきます。

## 7 PRESENTS おいしい「霧島茶」をプレゼントします

霧島山麓では古くからお茶が生産され、かごしま茶の名産地といわれています。神々が宿るといわれる霧島山にいだかれ、肥沃な大地と霧により「豊かな香り・コクのある味・すっきりとした水色」が特徴のお茶です。霧島市茶業振興会K-GAP推進部会は霧島茶のブランド化に取り組んでいます。**問**＝霧島市茶業振興会K-GAP推進部会事務局 (JAあいら茶業センター内) ☎(58) 9977



※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報広聴グループ ☎(64) 0955 までご連絡ください。

### 霧島市ホームページ



市ホームページまたは携帯サイトをご覧ください。ご利用の携帯電話や読み取りアプリによって表示される内容が異なります。

### 霧島市公式ツイッター



市の情報をタイムリーにお知らせします。

### ◎人口 / 128,159人 (+39)

男性 / 61,754人 (-1)  
女性 / 66,405人 (+40)  
出生 106人 / 死亡 89人  
転入 361人 / 転出 336人

### ◎世帯数 / 59,439世帯 (+26)

(平成25年6月1日現在)

夏 といえば水遊び。満辺町の上床公園にある「じゃぶじゃぶ池」は小さな子どもたちにとって楽しい水遊びの場。「水遊びができるし、隣にある運動場は芝生なので転んでも痛くありません。大人たちはたくさんある木陰で子どもたちを見守っています」と話すのは公園近くに住む藤谷友江さん。空港を望む場所にある上床公園。長い滑り台や遊具など子どもたちもきつと喜ぶと思いますよ。



■トイレ・遊具・駐車場・体育館・運動場・庭球場・多目的交流施設あり。

☎＝上床公園 (満辺町麓3391) ☎(58)2451



今回はこれからの暑い夏に小さな子どもたちが安心して遊べる「じゃぶじゃぶ池」を紹介しします。

### 今月の表紙



【撮影データ】

デジタルカメラ レンズ18～135mm F3.5～5.6 1/30 F5.6 ISO100

牧園町高千穂の「丸尾滝」。国道223号沿いにあり、車窓から見られた方も多いのではないでしょうか。よく見ると岩が割れて柱状になっているのがわかります。これは溶岩が冷え固まってできる柱状節理という現象。少し赤く見えるのは、滝の水に含まれる温泉の成分によって酸化したため。そこを白い糸のように流れ落ちる水の様は、まさにジオパークの恵みが作りだした芸術。日が差し込む前は、全体が青色に染まり、一味違った魅力を見せてくれます。(み)

20 年前のあの時、私は高校生でした。家の前の道路が川のようになり、慌てて父と土のうを積んだことを覚えています。でも覚えていたのはそれだけ…。市内でどれだけの被害があったのか今回、初めて知りました。記憶を記録として残すことの大切さを改めて感じました(み)

今 やらないと大体後でもやらない。だから今に関する名言が多くある。最近では「今でしょ!」でしょうか。取材したミュージカルの子どもの懸命な姿はまさに「今でしょ!」でした。私は家で意味も分からず4歳の娘が連呼する覚えた「今でしょ!」で励まされています(か)

甘 いかケテルに目がない私。でも森さんのパフォーマンスが始まると飲むのを忘れて見入ってしまう。人を魅了する技の数々。今回の取材でそんな華やかな舞台を支える陰の努力を知った。努力は裏切らない。ちょっと元気がないときは行ってみよう。クーポン券を持って(う)

F Mきりしま」が開局。霧島市も「知っ得 情報 クロスきりしま」の名前で市政情報を月曜日～金曜日の8時と17時30分の2回、10分間お伝えします。市民のラジオとして定着するようにみんなで聞きましよう。身近な人も登場するかもしれません。周波数は76.9MHz(た)

### 市長コラム 前田終止

ふるさとに帰るきっかけ 平成22年の国勢調査で鹿児島県全体の人口は、前回調査の平成17年と比べて約5万人減少しました。5年間で一つの市がなくなる勢いです。霧島市も合併前の人口推計では確実に人口が減少すると統計学的に予測されました。

初代霧島市長としてなんとしても人口減少を阻止し元氣なふるさとをつくらうと、子育て支援や企業誘致の促進を図りながら、移住定住策を創設しました。前年度末で714人の移住者を迎えることができ、まさに全国トップレベルの取り組みとなりました。これにより、先の国勢調査では178人の人口増、数字で表れた確実な成果です。

その移住定住策を今年度から見直し、市外からの移住者ももちろんのこと、国内・単人地区の市街地から市内全域の中山間地域への転居も対象にしました。先日、この制度を利用され、転居されるご家族にお話を伺う機会があり、「この制度がふるさとに帰るきっかけになりました」と笑顔で話してくれました。郷土愛を育む制度が始まりました。